2012 年春季年会

年会プログラム

於　龍谷大学（深草キャンパス）

2012 年 3 月 19 日（月）～ 3 月 22 日（木）

日 本 天 文 学 会

日本天文学会 2012 年春季年会プログラム

期　日　2012 年 3 月 19 日（月）〜 3 月 22 日（木）

場　所　龍谷大学深草キャンパス（京都市伏見区深草塚本町 67）

電　話　090 - 4387 - 6893 ＜使用期間 2012 年 3 月 18 日（日）〜 3 月 22 日（木）＞

日　程

月日	会場	9–10	10–12	12–13	13–14	14–16	16–17	17–19
3 月 18 日（日）					公開講演会			
3 月 19 日（月）	A			受付	Y. 教育・他		ALMA 特別セッション（H 会場）	天文教育フォーラム（H 会場） / 理事会
	B				W. 飛翔観			
	C				T. 銀河団			
	D				K. 超新星爆発 /L. 太陽系			
	E				M. 太陽			
	F				N. 恒星			
	G				S. 銀河核			
	H				A. プラズマ			
3 月 20 日（火）	A	受付	Y. 教育・他	ポスター	昼休み（評議員会）	J. 高密度星	受賞記念講演（3 号館） / 総会出席者確認	総会（3 号館）
	B		W. 飛翔観			W. 飛翔観		
	C		V. 地上観			V. 地上観		
	D		L. 太陽系			P. 星・惑星		
	E		M. 太陽			M. 太陽		
	F		N. 恒星			X. 銀河形成		
	G		S. 銀河核			S. 銀河核		
	H		A. プラズマ			A. プラズマ		
	I		ジュニアセッション					
3 月 21 日（水）	A	受付	J. 高密度星	ポスター	昼休み	J. 高密度星	TMT 特別セッション（H 会場）	懇親会
	B		W. 飛翔観			R. 銀河		
	C		V. 地上観			V. 地上観		
	D		P. 星・惑星			P. 星・惑星		
	E		M. 太陽			Q. 星間現象		
	F		X. 銀河形成			X. 銀河形成 /U. 宇宙論		
	G		B. アストロ H			B. アストロ H		
	H		A. プラズマ			A. プラズマ		
3 月 22 日（木）	A	受付	J. 高密度星	ポスター	昼休み	J. 高密度星		
	B		R. 銀河			R. 銀河		
	C		V. 地上観			V. 地上観		
	D		P. 星・惑星			P. 星・惑星		
	E		Q. 星間現象			Q. 星間現象		
	F		U. 宇宙論			U. 宇宙論		
	G		B. アストロ H			B. アストロ H		
	H		A. プラズマ			A. プラズマ		

A 会場：21 号館 2F（201）
B 会場：21 号館 2F（202）
C 会場：21 号館 4F（401）
D 会場：21 号館 5F（501）
E 会場：21 号館 5F（502）
F 会場：21 号館 6F（602）
G 会場：21 号館 6F（603）
H 会場：21 号館 6F（604）
I 会場：3 号館 2F（201）

受　付：2 号館 1F（109）
ポスター会場：2 号館 2F 〜 4F
展示コーナー：2 号館 1F、2F
会議室 1：2 号館 2F（203）
会議室 2：2 号館 2F（204）
総会会場：3 号館 3F（301）
インターネット室 1：21 号館 4F（404）
インターネット室 2：21 号館 4F（407）

◎講演数

講　　演　　数 ：合計　746

（口頭講演（a)：477、 ポスター講演（b)：197、 ポスター講演（c)：72）

◎参加登録について（参加者は、当日必ず参加登録をしてください。）

2011 年秋季年会より、講演登録費は、講演申込時にお支払いいただく事になりました。

○参加費用

	会　員	非会員	
参　　加　　費	3,000 円（不課税）	5,000 円（消費税込み）	
	（但し講演ありの場合、参加費は無料）		
講 演 登 録 費	3,000 円（不課税）	10,000 円（消費税込み）	（1 講演につき）
年 会 予 稿 集	2,000 円（消費税込み）	2,000 円（消費税込み）	（購入希望者のみ）

○参加登録受付場所：受付（２号館１Ｆ）

○参加登録受付時間： 3 月 19 日　11：00 ～ 16：00
3 月 20 日　09：00 ～ 16：00
3 月 21 日　09：00 ～ 16：00
3 月 22 日　09：00 ～ 13：00

※参加費は、会期中に受付にて忘れずにご納付ください。

※参加費用支払い時に渡される領収書は、再発行はできませんので、大切に保管してください。

※講演登録者は、講演申し込み後にキャンセル等しても、講演登録費の返金はいたしません。

※懇親会に参加される方は、隣の懇親会専用の受付にて懇親会の参加費をお支払いください。

◎講演に関する注意

1．口頭発表は 8 会場（2 日目のみ 9 会場）で並行して行います。口頭講演 (添字 a) は、口頭発表 9 分、質疑応答 3 分です。ポスター講演 (添字 b) は、口頭発表 3 分、3 講演で 12 分を割り当て、座長の判断で質疑応答を行います。

※時間厳守：講演制限時間を超過した場合は、直ちに降壇していただきますので、講演者の皆様は制限時間を厳守できるよう特に万全の準備をお願いします。

2．ポスター発表 (添字 b)、(添字 c) は、3 月 19 日の 12：00 から 3 月 22 日の 13：00 までポスター会場の指定された場所に掲示できます。終了後は速やかに撤去してください。
ポスターサイズは縦 180 cm× 横 90 cm です。

3．講演には液晶プロジェクターをご使用ください。液晶プロジェクターは、セッション開始前に PC の接続を確認してください。講演時間は、直前の講演者が降壇した時点から計り始めます。迅速に講演が始められるよう、次の講演者は前の講演中に PC を接続しておいてください。

◎会期中の行事

月　日	時　間	会　場	行　事　名
3 月 18 日	13:00 〜 17:00	京都大学百周年時計台記念館	公開講演会
3 月 19 日	15:30 〜 17:00	H 会場	ALMA 特別セッション
	17:00 〜 18:30	H 会場	天文教育フォーラム
3 月 20 日	15:45 〜 16:15	3 号館 3F	受賞記念講演
	16:30 〜 18:30 （16:30 〜 17:00　総会出席者確認、17:00　総会開始）	3 号館 3F	総　会 ○各賞の受賞 ○監査報告、他 ○ 2011 年度事業報告 ○ 2011 年度決算報告 ○ 新定款の承認
3 月 21 日	15:45 〜 17:15	H 会場	TMT 特別セッション
	17:45 〜		懇親会

◎会合一覧表

月　日	時　間	会　場	会　合　名	一般参加可否
3 月 19 日	18:45 〜 19:45	会議室 1 ２号館（203）	理事会	D
3 月 20 日	12:30 〜 13:30	会議室 1 ２号館（203）	評議員会	D
	12:30 〜 13:30	A 会場	理論天文学宇宙物理学懇談会報告会	A
	12:30 〜 13:30	B 会場	女性天文学研究者の会	A
3 月 21 日	12:30 〜 13:30	A 会場	天文・天体物理若手の会総会	C
	12:30 〜 13:30	B 会場	宇宙電波懇談会総会	C
	12:30 〜 13:30	C 会場	研究計画検討会	D
	12:30 〜 13:30	E 会場	太陽研究者連絡会	B
3 月 22 日	12:30 〜 13:30	A 会場	天文・天体物理若手夏の学校座長説明会	A
	12:30 〜 13:30	B 会場	SKA-J コンソーシャム定例 Face to Face 会合	B
	12:30 〜 13:30	C 会場	光学赤外線天文連絡会総会	B

※一般参加可否の説明（オープン化の程度）

A: 誰でも大歓迎で是非来てほしい
B: 興味を持った人には広く門戸を開いている
C: 関係グループ向けのものだが部外者も特に拒みはしない
D: 関係者のみにクローズした非公開の会合

◎ ALMA 特別セッション　：ALMA 初期科学運用観測開始

日　　時 ：2012 年 3 月 19 日（月）15：30 〜 17：00
場　　所 ：H 会場
概　　要 ：いよいよ ALMA の最初の初期科学運用が始まりました。すでに部品レベルでは 50 台以上のアンテナがチリに到着し、各種装置の組み立て、試験、運用など急速に本格運用に向けて立ち上がりつつあります。その中で、この春季学会が ALMA の初期科学運用が始まってからの最初の学会です。本特別セッションでは第 2 回目の Call for proposal 直前の開催ですので、天文学会員の皆様に ALMA の第 2 回初期運用時の性能、特に今回新たに加わった機能を改めて具体的に紹介し、プロポーザルのブラッシュアップに役立てていただきたいと思います。また、この間の ALMA サイエンス評価活動でさまざまな天体画像が得られました。それらの最新成果を紹介して、ALMA のポテンシャルを皆様に伝えたいと思います。

プログラム ：
1. ALMA 進捗状況　　井口 聖 (国立天文台)
2. ALMA 第二回プロポーザル募集の仕様とユーザー支援　　齋藤正雄（国立天文台）
3. ALMA 天体画像からわかる ALMA の性能　　Espada (国立天文台)

世　話　人 ：齋藤正雄 (国立天文台 ALMA 推進室)

◎ TMT 特別セッション

日　　時 ：2012 年 3 月 21 日（水）15：45 〜 17：15
場　　所 ：H会場
概　　要 ：国際プロジェクトである TMT(30m 地上大型望遠鏡計画) の設計は急ピッチで進んでおり、日本もまた、プロジェクトのメジャーパートナーとして、これを本格的に進めることを目指しています。今回の特別セッションでは、TMT 計画の現状を報告するとともに、天文学の新しい展開が期待されるいくつかの TMT キーサイエンスについて広く天文学コミュニティのみなさんにご紹介したいと思います。TMT 計画の実現のためには、日本にとって、今こそ開発・研究体制に大きな変革が必要です。今後日本がどのように具体的 にこの計画に寄与し、どのような科学運用を推し進めていくべきか、についての議論を通じて、様々な分野の研究者が積極的に参加する機運を盛り上げていきたいと思います。

世　話　人 ：柏川伸成、児玉忠恭（国立天文台 TMT プロジェクト室）

◎天文教育フォーラム

主催：日本天文学会、天文教育普及研究会

テーマ ：「科学コミュニケーションと天文学」
日　時 ：2012 年 3 月 19 日（月）17：00 ～ 18：30
場　所 ：H 会場
概　要 ：　最近「科学コミュニケーションの推進」が国の科学技術基本計画の方針となり，その推進という面だけでなく，市民が気軽にサイエンスを楽しめるような機会を増やす流れも各地で活発になりつつあります。そこで 2011 年の春の天文教育フォーラムでは「科学コミュニケーション」をテーマとして開催される予定でした。ところが直前の東日本大震災の発生によって，残念ながら中止のやむなきに至りました。このように時期を得たと思われるテーマをきちんと取り上げたいという思いと，さらにはこの震災によって「科学コミュニケーション」の役割についても改めて問い直す必要が出てきたのではないかと考え，今回もほぼ前回予定したテーマにそったものとなりました。「科学コミュニケーション」において実践が進んでいると考えられている天文コミュニティにおいて，その立ち位置や手法をまとめて社会に発信できる形にすることの重要性は依然として変わらないでしょう。

　フォーラムではまず科学コミュニケーションの実情について震災を含めた広い立場から整理していただき，その中から天文学分野における特性を概観できればと思います。その後，市民の立場で活動されている例についてもお話しいただきます。さらに国際的に見た天文分野における科学コミュニケーションの現状について話題提供もしていただき，今後我々はどのように考え，そのような形で参加して行くべきなのかを議論したいと思います。

内容： 1.「震災と科学コミュニケーション」 横山広美（東京大学理学部）
2.「市民の立場による科学コミュニケーション」 小幡真希（星のソムリエみたか）
3.「天文学におけるサイエンスコミュニケーション活動の現状」 縣秀彦（国立天文台）
4. 討論　進行 : 高梨直紘（東京大学生産技術研究所 /EMP)

参加費：日本天文学会年会は非会員も参加できます。また，天文教育フォーラムのみの参加者は，年会参加費は不要です。年会受付時に，その旨お申し出下さい。

実行委員：仲野誠（大分大学），有本淳一（京都市立塔南高校），柴田晋平（山形大学），安藤享平（郡山市ふれあい科学館）

◎日本天文学会公開講演会

テーマ：「最新テクノロジー望遠鏡で迫る宇宙」
(http://www.kusastro.kyoto-u.ac.jp/asj2012a/public.html)
日　時：2012 年 3 月 18 日 (日) 13：00 ～ 17：00（開場 12：00）
場　所：京都大学百周年時計台記念館 (大ホール)
(http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/map6r_y.htm)
対　象：中学生以上・一般向け（小学生以下でも特に希望する人なら参加できます。）
内　容：（1）講演会の趣旨と金環日食の話　柴田一成（京都大学）
（2）「光赤外線の望遠鏡、その最先端技術」 長田哲也　(京都大学)
（3）「アンデスの巨大電波望遠鏡 ALMA」 長谷川哲夫 (国立天文台)
（4）「X 線望遠鏡って：それで何が見えるの」小山勝二（京都大学)
（5）総合質疑・講師等によるパネルディスカッション

趣　旨：　天文学者と聞くと、夜な夜な望遠鏡を覗いて星の研究をしているというイメージがあるかもしれません。しかし、今や望遠鏡も観測装置も現代の新しい技術を取り入れることによってこのようなイメージとは随分違った観測が行われています。しかも、現代の天文学では、電波から X 線・ガンマ線まで全ての電磁波の波長域での観測結果を総合することで宇宙の謎に迫ることが必須となっていて、それぞれの波長で望遠鏡や観測方法が異なります。例えば、光や赤外線の波長ではすばる望遠鏡に代表されるような 1 枚鏡による観測が一般的で、電波では ALMA のような多数のアンテナを組み合わせた観測もあり、X 線では地上では観測せずに衛星による観測が行われています。

　そこで、この講演会では、目で見える光だけではなく、電波と X 線の波長域を取り上げ、それぞれの波長によって望遠鏡の仕組みがどのように異なるのか、どうやって観測しているのか、波長が異なると見える宇宙・天体の姿が全く違っていますが、どんな風に違うのか等についてお話頂きます。三人の講師の方は、それぞれの波長での最先端の技術に詳しい一線の研究者で、最新望遠鏡や観測装置、将来の望遠鏡等の話もして頂く予定です。講演の後には、全波長を見渡して宇宙を見る「眼」の違いや色々な波長での観測が必要な理由等について総合的な質疑の場を設け、講演参加者も交えて討論を行います。

　また、三つの講演の前には、2012 年 5 月にみられる金環日食の簡単な紹介も行います。多くの皆さまの参加をお待ちしています。

申　込：　事前の参加申し込みは不要。入場無料。当日会場にて受付してください。ただし、会場定員 500 名を超える場合には、入場制限をかける場合もあります。なお、駐車場などありませんので、公共交通機関をご利用ください。市バス京大正門前下車徒歩約 5 分です。

◎ ALMA 展示ブース　：　ALMA プロポーザル作成・データ解析相談室

日　時：天文学会期間内（ALMA 特別セッション開催時を除く）

場　所：ポスター会場（205）

概　要：　ALMA 推進室では天文学会内において、ALMA を用いた観測を考えている研究者、ALMA の最新情報に興味のある方々に対して常設ブースを通じて情報提供と質問・相談受付を行います。次回の ALMA 初期運用共同利用である Cycle1 での観測を考えている方々には、プロポーザル作成の相談としてどのような装置が利用可能となりどのような能力を有するのか？プロポーザル作成にどのような手順や情報が必要となるのか？注意点は何か？などの情報提供を行い、また具体的なプロポーザル作成相談も受付けます。それ以外にも ALMA データの解析に関する相談もこのブースにて対応します。その場合、ご自身の PC に解析ソフト CASA をインストールして持参していただければより具体的な相談にも対応できます。お気軽にご利用ください

世　話　人：西合一矢 (国立天文台 ALMA 推進室) saigo.kazuya@nao.ac.jp
齋藤正雄 (国立天文台 ALMA 推進室) masao.saito@nao.ac.jp
奥村幸子 (国立天文台 ALMA 推進室) sachiko.k.okumura@nao.ac.jp

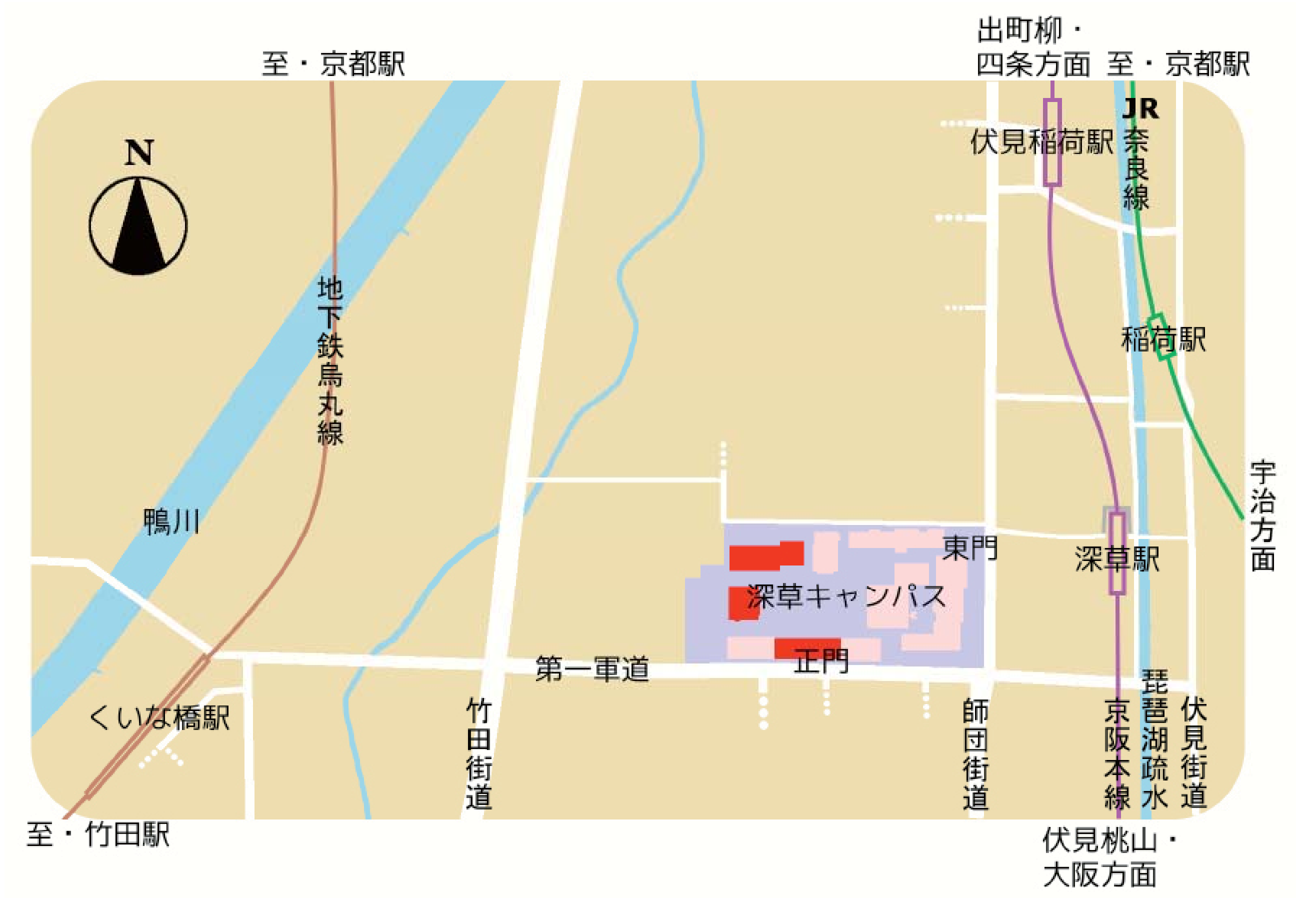
◎ TMT 展示ブース　：　TMT 望遠鏡セグメント鏡の試作

場　所：2 号館 1F

概　要：国立天文台は次世代の超大型光赤外線望遠鏡計画として TMT(Thirty Meter Telescope) プロジェクトへの参画を目指している。TMT プロジェクトはカリフォルニア工科大学・カリフォルニア大学・カナダ・日本・中国・インドの 5 ヶ国 6 パートナーの国際協力で口径 30m の超大型光赤外線望遠鏡をハワイ島マウナケア山頂に建設する計画である。TMT 望遠鏡はすばる望遠鏡とは異なり、対角 1.5m の六角形をした鏡を 492 枚合わせて有効口径 30m の主鏡を構成するセグメント鏡方式を採用する。日本は貢献の大きな柱の一つとしてセグメント鏡の製作を提案しており、国立天文台・TMT プロジェクト室は、その技術実証のために主鏡を構成するセグメント鏡のフルサイズ鏡を試作した。そこで、TMT プロジェクトへの日本の寄与についての進展を実感して頂くために、年会の展示ブースにセグメント鏡の実物 (対角 1.44m 六角形・5cm 厚・極低膨張ガラス製 ; 表面を非球面光学研磨) をメインにした TMT 望遠鏡についての展示を行う。

世　話　人：家　正則（国立天文台・TMT プロジェクト室）TEL 0422-34-3520
山下卓也（国立天文台・TMT プロジェクト室）TEL 0422-34-3786
鈴木竜二（国立天文台・TMT プロジェクト室）TEL 0422-34-3524

春季年会会場（龍谷大学・深草キャンパス）のご案内



交通案内

●京都駅から

・JR奈良線　下り　普通　稲荷駅下車　（日中1時間4本　所要時間約5分　運賃140円）　南西へ徒歩約10分

・地下鉄烏丸線　竹田/新田辺・近鉄奈良方面行き　くいな橋駅下車　（所要時間約6分　運賃250円）　東へ徒歩約10分

●京阪電鉄京阪本線　深草駅下車　西へ徒歩約5分（深草駅は普通・準急のみ停車）

●大阪伊丹空港から

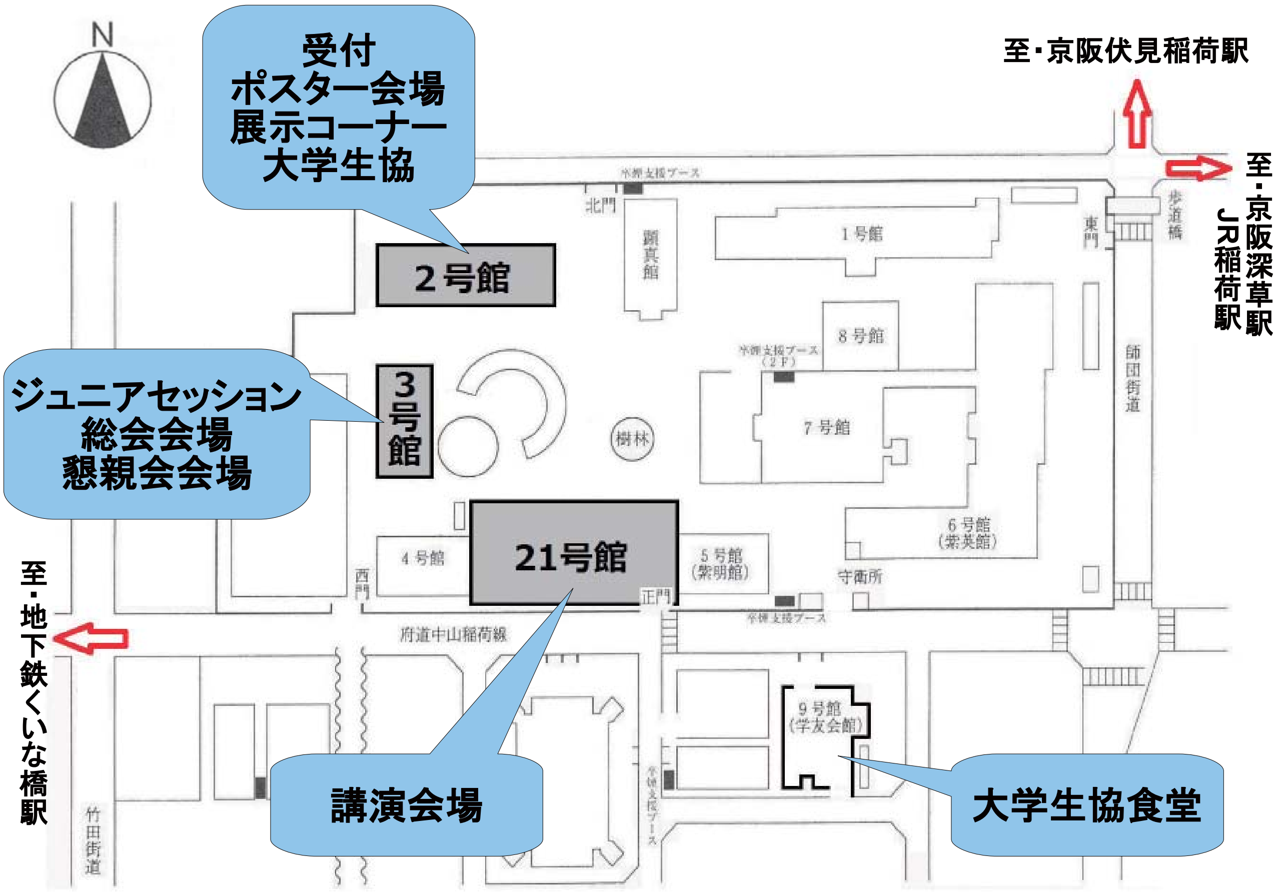
空港リムジンバス京都行き　（南ターミナル15番のりば　北ターミナル5番のりば、日中20分間隔）
京都駅八条口下車（所要時間50分～55分　運賃1280円）以降京都駅からと同じ

●関西国際空港から

・空港リムジンバス京都/高速京田辺行き　（旅客ターミナルビル1F8番のりば、日中1時間に2本または1本）
京都駅八条口下車（標準所要時間約88分　運賃2500円）　以降京都駅からと同じ

・関西空港駅から　特急はるか　京都行き　京都駅下車　（日中30分間隔　所要時間約75分　自由席運賃2980円）
以降京都駅からと同じ

キャンパスマップ



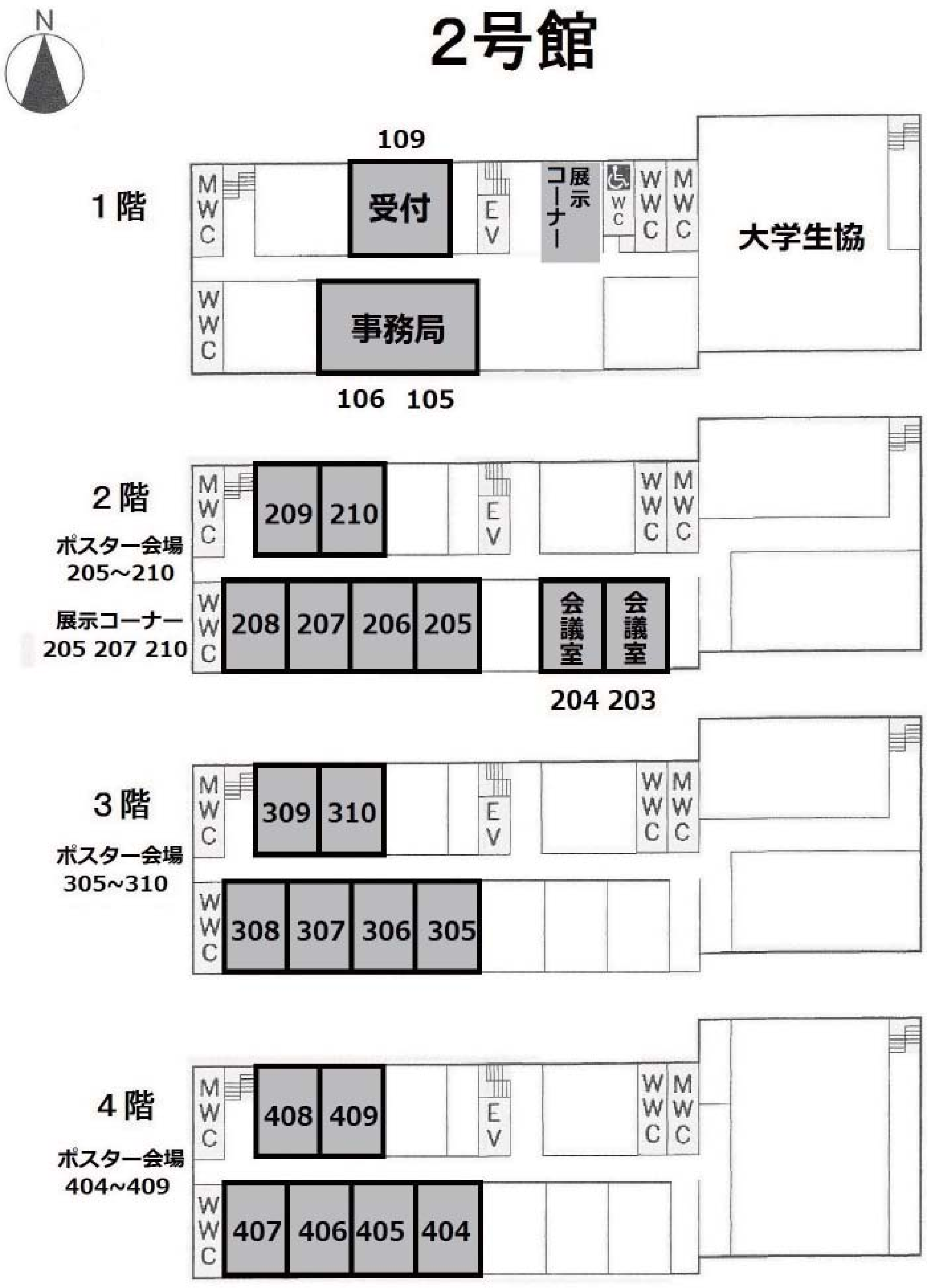
・会場：龍谷大学深草キャンパス2号館，3号館，21号館

・最寄り駅：京阪電鉄京阪本線　深草駅
　　　　　　JR奈良線　稲荷駅
　　　　　　京都市営地下鉄烏丸線　くいな橋駅

・受付：2号館1階
・講演会場：21号館2階，4階～6階，3号館2階（ジュニアセッション）
・ポスター会場：2号館2階～4階
・正会員・賛助会員展示コーナー：2号館1階，2階
・総会：3号館3階
・会議室：2号館2階
・インターネット室：21号館4階
・懇親会：3号館地下食堂

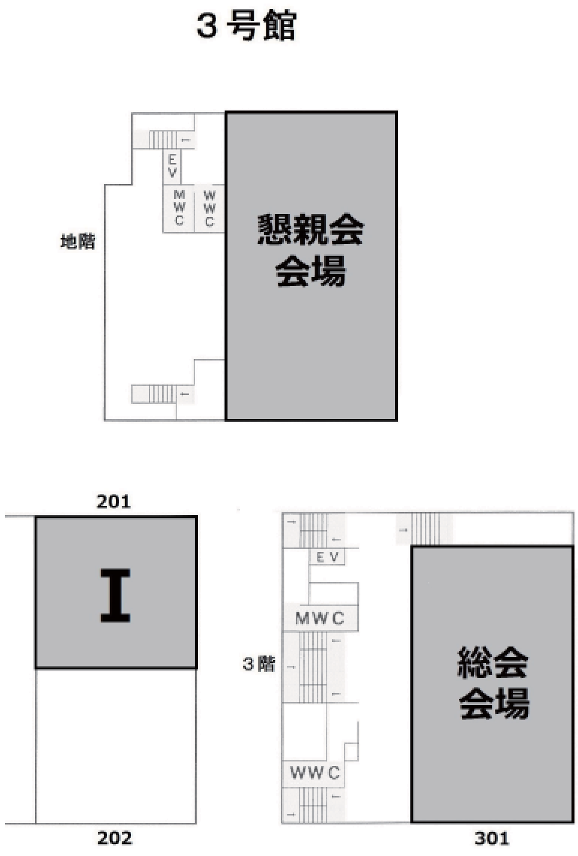
※龍谷大学は全館禁煙です。喫煙は学内に設置されている「卒煙支援ブース」にてお願いいたします。

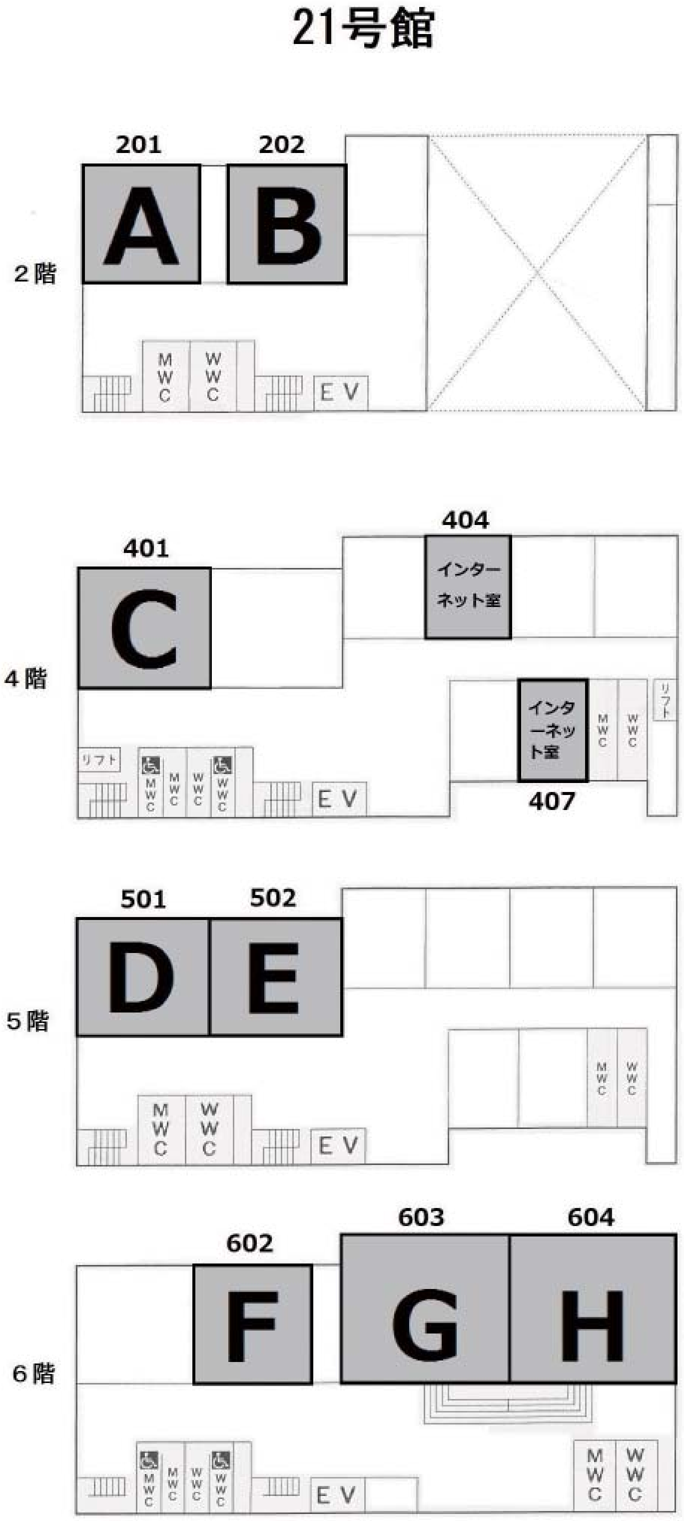
会 場 案 内 図



404：ジュニア	305：高密度星	205：地上観、展示
405：ジュニア	306：超新星爆発、太陽系、太陽	206：地上観
406：ジュニア	307：恒星、星・惑星	207：地上観、展示
407：ジュニア	308：星・惑星、星間現象	208：飛翔観
408：プラズマ	309：銀河、銀河核	209：飛翔観
409：プラズマ	310：銀河団、宇宙論、銀河形成、PDL	210：教育・他、展示

会 場 案 内 図


3号館
地階
EV
MWC
WWC
懇親会
会場
201
I
202
3階
EV
MWC
WWC
総会
会場
301


21号館
201
202
A
B
2階
MWC
WWC
EV
404
401
インター
ネット室
C
4階
インタ
ーネッ
ト室
リフト
MWC
WWC
EV
407
501
502
D
E
5階
MWC
WWC
EV
603
604
602
F
G
H
6階
MWC
WWC
EV

口頭セッション　　３月 19 日（月）

	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	F 会場	G 会場	H 会場
開始時刻	【教育・他】	【飛翔観】	【銀河団】	【超新星爆発 / 太陽系】	【太陽】	【恒星】	【銀河核】	【プラズマ】
13：00	**Y01a**	**W101a**	**T01a**	**K01a**	**M01a**	**N01a**	**S01a**	**A01a 〜 A12b**
13：12	**Y02b-Y04b**	**W102a**	**T02a**	**K02a**	**M02a**	**N02a**	**S02a**	
13：24	**Y05a**	**W103a**	**T03a**	**K03a**	**M03a**	**N03a**	**S03a**	
13：36	**Y06a**	**W104b-W106b**	**T04a**	**K04a**	**M04a**	**N04a**	**S04a**	
13：48	**Y07a**	**W107a**	**T05a**	**K05a**	**M05b-M07b**	**N05a**	**S05a**	
14：00	**Y08b, Y09b Y11b**	**W108a**	**T06a**	**K06a**	**M08a**	**N06a**	**S06a**	
14：12	**Y14b-Y16b**	**W109a**	**T07a**	**K07b-K09b**	**M09a**	**N07a**	**S07a**	
14：24	**Y17a**	**W110a**	**T08a**	**K10b, K11b**	**M10a**	**N08a**	**S08a**	
14：36	**Y18a**	**W111a**	**T09b**	**L01a**	**M11a**	**N09a**	**S09a**	
14：48	**Y19a**	**W112a**	-	**L02a**	-	**N10a**	**S10b-S12b**	
15：00	**Y22b, Y23b**	**W113b-W115b**	-	**L03b**	-	-	-	
15：30	ALMA 特別セッション（H 会場）							
17：00	天文教育フォーラム（H 会場）							
18：45	理　事　会							

口頭セッション　　３月 20 日（火）

	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	F 会場	G 会場	H 会場	I 会場
開始時刻	【教育・他】	【飛翔観】	【地上観】	【太陽系】	【太陽】	【恒星】	【銀河核】	【プラズマ】	
09：30	Y24a	W116a	V101a	L04a	M12a	N11a	S14a	A13a 〜 A23b	ジュニアセッション
09：42	Y25a	W117a	V102a	L05a	M13a	N12a	S15a		
09：54	Y26a	W118a	V103a	L06b, L08b L09b	M14a	N13a	S17a		
10：06	Y27a	W119a	V104a	L10a	M15a	N14a	S18a		
10：18	Y28a	W123a	V105a	L11a	M16a	N15a	S20a		
10：30	Y29a	W124a	V106a	L12a	M17a	N16a	S21a		
10：42	Y30a	W125a	V107a	L13a	M18a	N17a	S23a		
10：54	Y31a	W126b-W128b	V108a	L14a	M19b-M21b	N18b-N20b	S24a		
11：06	Y32a	W129a	V109b-V111b	L15a	M22b	N21b-N23b	S25a		
11：18	Y33a	W130a	V114b-V116b	L16a	-	N24b, N25b	S26a		
11：30	Y34a	W131b-W133b	-	-	-	-	S27b, S28b		
11：42	Y35b	W134b	-	-	-	-	-	-	-
11：30	ポスター								
12：30	昼休み（評議員会）								
開始時刻	【高密度星】	【飛翔観】	【地上観】	【星・惑星】	【太陽】	【銀河形成】	【銀河核】	【プラズマ】	
13：30	J01a	W135a	V117a	P101a	M27a	X01a	S29a	A24a 〜 A31b	ジュニアセッション
13：42	J02b-J04b	W136a	V118a	P102a	M28a	X02a	S30a		
13：54	J05a	W137a	V119a	P103a	M29a	X03a	S31a		
14：06	J06a	W201a	V120a	P104b-P106b	M30a	X04a	S32a		
14：18	J07a	W202b-W204b	V121a	P107a	M31a	X05b,X06b	S33a		
14：30	J08a	W206a	V122a	P108a	M32a	X08a	S34a		
14：42	J09a	W208b-W210b	V123b-V125b	P109a	M33a	X09a	S35a		
14：54	J10a	W212b-W214b	V130b-V132b	P110a	M34a	X10a	S36a		
15：06	J11a	W215b,W216b W219b	V134b-V136b	P111a	M35a	X11a	S37a		
15：18	J12b-J14b	W220b,W221b	V137b-V139b	P112a	-	X12a	S38a		
15：45	受賞記念講演（3 号館）								
16：30	総会（3 号館）								

口頭セッション　３月 21 日（水）

	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	F 会場	G 会場	H 会場
開始時刻	【高密度星】	【飛翔観】	【地上観】	【星・惑星】	【太陽】	【銀河形成】	【アストロH】	【プラズマ】
09：30	**J15a**	**W222a**	**V201a**	**P113a**	**M36a**	**X13a**	**B01a 〜 B08a**	**A32a 〜 A43a**
09：42	**J16a**	**W223a**	**V202a**	**P114a**	**M37a**	**X14a**		
09：54	**J17a**	**W224a**	**V203b-V205b**	**P115a**	**M38a**	**X15a**		
10：06	**J18a**	**W225a**	**V206a**	**P116a**	**M39a**	**X16a**		
10：18	**J19a**	**W226a**	**V207b-V209b**	**P117a**	**M40a**	**X17a**		
10：30	**J20a**	**W227a**	**V210b-V212b**	**P118a**	**M41a**	**X18a**		
10：42	**J25b-J27b**	**W228a**	**V213a**	**P119a**	**M42a**	**X19a**		
10：54	**J28a**	**W229b-W231b**	**V216a**	**P120a**	**M43a**	**X20a**		
11：06	**J29a**	**W232a**	**V217b-V219b**	**P121a**	**M44a**	**X21b-X23b**		
11：18	**J30b, J31b**	**W233a**	**V220b,V221b**	**P122a**	-	**X24b,X25b**		
11：30	-	**W234b-W236b**	-	**P123b-P125b**	-	-	-	-
11：30	ポスター							
12：30	昼休み							
開始時刻	【高密度星】	【銀河】	【地上観】	【星・惑星】	【星間現象】	【銀河形成 / 宇宙論】	【アストロH】	【プラズマ】
13：30	**J33a**	**R01a**	**V222a**	**P127a**	**Q01a**	**X27a**	**B09a 〜 B18a**	**A45a 〜 A58b**
13：42	**J34a**	**R02a**	**V225a**	**P128a**	**Q02a**	**X28a**		
13：54	**J35a**	**R03a**	**V226b-V228b**	**P129a**	**Q03a**	**X29a**		
14：06	**J36a**	**R04a**	**V229a**	**P130a**	**Q04a**	**X30a**		
14：18	**J37a**	**R05a**	**V230a**	**P131a**	**Q05a**	**X31a**		
14：30	**J38a**	**R06a**	**V231b-V233b**	**P132b-P134b**	**Q06a**	**U01a**		
14：42	**J39a**	**R07a**	**V234a**	**P135b,P136b**	**Q07a**	**U02a**		
14：54	**J40a**	**R11a**	**V235a**	**P201b-P203b**	**Q08a**	**U03a**		
15：06	**J41a**	**R12a**	**V236b-V238b**	**P204b-P206b**	**Q09a**	**U04b-U06b**		
15：18	**J42b-J44b**	**R13b,R14b R16b**	**V239a**	**P207b,P208b**	**Q10b-Q12b**	**U07b-U09b**		
15：30	-	**R17b**	-	-	**Q13b**	-	-	-
15：45	TMT 特別セッション（H 会場）							
17：45	懇親会							

口頭セッション　3月22日（木）

	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	F 会場	G 会場	H 会場
開始時刻	【高密度星】	【銀河】	【地上観】	【星・惑星】	【星間現象】	【宇宙論】	【アストロH】	【プラズマ】
09：30	**J48a**	**R18a**	**V241a**	**P209a**	**Q14a**	**U10a**	**B19r ～ B27a**	**A60a ～ A68b**
09：42	**J49a**	**R19a**	**V242a**	**P210a**	**Q15a**	**U11a**		
09：54	**J50a**	**R20a**	**V243a**	**P211a**	**Q16a**	**U12a**		
10：06	**J51a**	**R24a**	**V244a**	**P212a**	**Q17a**	**U13a**		
10：18	**J52a**	**R25a**	**V245a**	**P213a**	**Q18a**	**U14a**		
10：30	**J53a**	**R26a**	**V246a**	**P214a**	**Q19a**	**U15a**		
10：42	**J54a**	**R27a**	**V247a**	**P215a**	**Q20a**	**U16a**		
10：54	**J55a**	**R28a**	**V248a**	**P216a**	**Q21a**	**U17a**		
11：06	**J56a**	**R29a**	**V249a**	**P217a**	**Q22a**	**U18a**		
11：18	**J57a**	**R30a**	**V250a**	**P218a**	**Q23a**	**U19a**		
11：30	-	**R31a**	-	-	**Q24a**	-		
11：42	-	-	-	-	**Q25a**	-	-	-
11：30	ポスター							
12：30	昼休み							
開始時刻	【高密度星】	【銀河】	【地上観】	【星・惑星】	【星間現象】	【宇宙論】	【アストロH】	【プラズマ】
13：30	**J58a**	**R32a**	**V140a**	**P219a**	**Q28a**	**U20a**	**B28a ～ B36a**	**A72a ～ A85b**
13：42	**J59a**	**R33a**	**V141a**	**P220a**	**Q29a**	**U21a**		
13：54	**J60a**	**R34a**	**V142a**	**P221a**	**Q30a**	**U22a**		
14：06	**J61a**	**R35a**	**V143a**	**P222a**	**Q31a**	**U23a**		
14：18	**J62a**	**R36a**	**V144a**	**P223a**	**Q32a**	**U24a**		
14：30	**J63a**	**R37a**	**V145a**	**P224a**	**Q33a**	**U25a**		
14：42	**J64a**	**R38a**	**V146a**	**P225a**	**Q34a**	**U26a**		
14：54	**J65a**	**R39a**	**V147a**	**P226a**	**Q35a**	**U27a**		
15：06	-	**R40a**	**V148a**	**P227a**	**Q36a**	**U28a**		
15：18	-	**R41a**	-	**P228a**	**Q37a**	-		

ポスターセッション　３月19日（月）～ ３月22日（木）

404～407教室

【ジュニアセッション】

408教室

【プラズマ】(18)

A07b　A08b　A10b　A11b　A12b
A22b　A23b　A30b　A31b　A34c
A38b　A40b　A41b　A42b　A44c
A49b　A50b　A51b

409教室

【プラズマ】(18)

A52b　A56b　A57b　A58b　A59c
A68b　A69c　A70c　A71c　A75b
A76c　A80b　A81b　A82b　A83b
A84b　A85b　A86c

305教室

【高密度星】(22)

J02b　J03b　J04b　J12b　J13b
J14b　J21c　J22c　J23c　J24c
J25b　J26b　J27b　J30b　J31b
J32c　J42b　J43b　J44b　J45c
J46c　J47c

306教室

【超新星爆発】(7)

K07b　K08b　K09b　K10b　K11b
K12c　K13c

【太陽系】(5)

L03b　L06b　L07c　L08b　L09b

【太陽】(11)

M05b　M06b　M07b　M19b　M20b
M21b　M22b　M23c　M24c　M25c
M26c

307教室

【恒　星】(9)

N18b　N19b　N20b　N21b　N22b
N23b　N24b　N25b　N26c

【星・惑星形成】(12)

P104b　P105b　P106b　P123b　P124b
P125b　P126c　P132b　P133b　P134b
P135b　P136b

308教室

【星・惑星形成】(9)

P201b　P202b　P203b　P204b　P205b
P206b　P207b　P208b　P229c

【星間現象】(6)

Q10b　Q11b　Q12b　Q13b　Q26c
Q27c

309教室

【銀　河】(13)

R08c　R09c　R10c　R13b　R14b
R15c　R16b　R17b　R21c　R22c
R23c　R42c　R43c

【活動銀河核】(9)

S10b　S11b　S12b　S13c　S16c
S19c　S22c　S27b　S28b

310教室

【銀河団】(1)

T09b

【宇宙論】(6)

U04b　U05b　U06b　U07b　U08b
U09b

【銀河形成】(9)

X05b　X06b　X07c　X21b　X22b
X23b　X24b　X25b　X26c

【PDL】

【最新情報コーナー】

ポスターセッション　3月19日（月）～ 3月22日（木）

205 教室

【地上観測機器】（15）

V109b	V110b	V111b	V112c	V113c
V114b	V115b	V116b	V123b	V124b
V125b	V126c	V127c	V128c	V129c

【展示コーナー】

アキリスジャパン（株）

（株）アド・サイエンス

ALMA

206 教室

【地上観測機器】（24）

V130b	V131b	V132b	V133c	V134b
V135b	V136b	V137b	V138b	V139b
V203b	V204b	V205b	V207b	V208b
V209b	V210b	V211b	V212b	V214c
V215c	V217b	V218b	V219b	

207 教室

【地上観測機器】（15）

V220b	V221b	V223c	V224c	V226b
V227b	V228b	V231b	V232b	V233b
V236b	V237b	V238b	V240c	V251c

【展示コーナー】

Exelis VIS（株）

（株）オハラ

208 教室

【飛翔体観測機器】（22）

W104b	W105b	W106b	W113b	W114b
W115b	W120c	W121c	W122c	W126b
W127b	W128b	W131b	W132b	W133b
W134b	W202b	W203b	W204b	W205c
W207c	W208b			

209 教室

【飛翔体観測機器】（22）

W209b	W210b	W211c	W212b	W213b
W214b	W215b	W216b	W217c	W218c
W219b	W220b	W221b	W229b	W230b
W231b	W234b	W235b	W236b	W237c
W238c	W239c			

210 教室

【天文教育・他】（17）

Y02b	Y03b	Y04b	Y08b	Y09b
Y10c	Y11b	Y12c	Y13c	Y14b
Y15b	Y16b	Y20c	Y21c	Y22b
Y23b	Y35b			

【展示コーナー】

（株）渡辺教具製作所